

令和7年
2025年

4月9日
水曜日

第11688号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



食育イベント「親子でビーフDay」が開催された……P4

- ▶ 3月豪州産対日輸出量、合計2万2403tで11・0%減 …… P2
- ▶ リライズコンサルティングが「ブランド依存脱却」テーマに食肉店経営者向けセミナー …… P3
- ▶ 関税措置に対し対策チーム設置「米国は輸出先国1位、輸出への影響は間違いなくある」—江藤農相… P4
- ▶ ビーフソムリエ、食育イベント「親子でビーフDay」開催 …… P4
- ▶ 創業70年「元祖紙やきホルモサ」が「ラムラムラム」に生まれ変わり移転オープン …… P5
- ▶ 吉野家「牛丼大盛」など値上げ、主力「並盛」は据え置き …… P5
- ▶ 豪州産牛肉に対し、米国は10%の相互関税を導入 …… P6

注目のヘッドライン

3月豪州産対日輸出量、合計2万2403tで11・0%減

豪州農水林業省が公表した3月の豪州の食肉輸出量によると、食肉の総計は19万7283t(前年同月比6・6%増)と増加した。 ……詳細はP2

関税措置に対し対策チーム設置「米国輸出への影響は間違いなくある」—農相

……詳細はP4

- ▶ 【輸入副生物現物相場】世界情勢に不透明感高まり …… P7
- ▶ ベイシア自社食品工場「プロセスセンター」改め「うんまいファクトリー」 …… P7
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉 …… P8
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況 〈輸入牛肉〉 …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]8日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]8日 …… P11

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

3月豪州産対日輸出量、合計2万2403tで11・0%減

豪州農水林業省が公表した3月の豪州の食肉輸出量によると、食肉の総計は19万7283t(前年同月比6・6%増)と増加した。

畜種別にみると、牛肉は11万2423t(5・5%増)、ラムは3万3426t(8・9%増)、マトンは2万2591t(11・5%増)、山羊は5083t(39・5%増)、豚肉は2679t(1・6%増)と増えたが、内臓類は2万1081t(1・0%減)と減少した。

対日輸出量(船積数量)は2万2403t(11・0%減)で、このうち牛肉は1万8718t(10・9%減)、ラムは1073t(13・2%減)、内臓類は1846t(18・4%減)と減少したが、マトンは675t(14・4%増)、山羊は90t(26・8%増)と前年を上回った。

牛肉の輸出数量を州別にみると、クイーンズランド州は5万

513t(6・2%減)、ビクトリア州は2万7567t(21・9%増)、ニューサウスウェールズ州は2万1903t(11・3%増)。このうち日本向けは、クイーンズランド州が1万1773t(17・2%減)、ビクトリア州は2791t(4・7%増)、ニューサウスウェールズ州は2999t(4・2%減)となった。

豪州の対日輸出数量(2025年3月)

(単位:トン、船積重量)

	日本向け計	NSW	VIC	QLD	南豪州	西豪州	TAS
牛肉	18,718	2,999	2,791	11,773	435	331	388
(前年同月比)	89.1	95.8	104.7	82.8	100.9	176.1	105.4
マトン	675	459	80	0	17	120	0
(前年同月比)	114.4	159.9	242.4	-	-	44.4	-
ラム	1,073	311	523	5	210	24	1
(前年同月比)	86.8	64.9	106.3	38.5	104.5	48.0	-
豚肉	1	0	1	0	0	0	0
(前年同月比)	-	-	-	-	-	-	-
内臓類	1,846	388	353	874	69	110	52
(前年同月比)	81.6	90.7	74.0	79.1	75.8	99.1	106.1
その他・計	22,403	4,157	3,815	12,674	731	586	441
(前年同月比)	89.0	96.1	102.6	82.5	101.1	94.7	105.3

豪州の食肉輸出数量(2025年3月)

(単位:トン、船積重量)

	豪州総計	NSW	VIC	QLD	南豪州	西豪州	TAS
牛肉	112,423	21,903	27,567	50,513	5,303	3,571	3,564
(前年同月比)	105.5	111.3	121.9	93.8	149.4	101.6	105.4
マトン	22,591	8,167	7,991	0	1,662	4,171	600
(前年同月比)	111.5	107.8	104.0	-	176.8	124.1	148.1
ラム	33,426	9,343	15,203	5	4,776	3,573	526
(前年同月比)	108.9	126.1	103.6	1.4	110.1	101.6	126.4
豚肉	2,679	649	463	131	438	995	0
(前年同月比)	101.6	85.7	142.5	63.3	139.5	96.3	-
内臓類	21,081	4,726	6,209	7,180	1,372	1,080	514
(前年同月比)	99.0	98.0	113.5	86.2	123.8	99.7	108.0
その他・計	197,283	46,539	59,627	58,787	13,601	13,523	5,204
(前年同月比)	106.6	113.9	113.2	91.7	132.4	108.1	111.2

2025年3月の船積み数量(3月31日時点)

(単位:トン)

主な輸出先国	牛肉	うちチルド	マトン	ラム	山羊	豚肉	内臓類	合計
日本	18,718	6,680	675	1,073	90	1	1,846	22,403
(前年同月比)	89.1	87.4	114.4	86.8	126.8	-	81.6	89.0
韓国	16,324	2,480	123	2,132	528	69	2,544	21,721
(前年同月比)	109.2	79.9	47.5	131.4	77.8	492.9	135.5	112.0
台湾	2,658	600	456	215	337	92	347	4,105
(前年同月比)	115.3	108.7	69.3	97.7	153.2	-	157.7	113.3
米国・東部	25,598	8,370	514	5,291	2,300	0	1,363	35,066
(前年同月比)	127.9	133.3	36.4	89.9	119.7	-	141.5	116.1
米国・西部	6,684	616	49	1,416	126	0	74	8,349
(前年同月比)	103.9	61.1	9.9	95.8	89.4	-	42.5	95.7
EU	1,269	1,250	763	2,554	23	0	65	4,674
(前年同月比)	126.0	133.0	217.4	212.8	-	-	84.4	177.4
その他・計	112,423	27,983	22,591	33,426	5,083	2,679	21,081	197,283
(前年同月比)	105.5	104.3	111.5	108.9	139.5	101.6	99.0	106.6

資料: 豪州農水林業省

リライズコンサルティングが「ブランド依存脱却」テーマに 食肉店経営者向けセミナー

食品業界に特化したコンサルティングを行っているリライズコンサルティング(株)の食肉業界支援チームでは、5月14日(東京)・23日(福岡)・30日(大阪)の各日(いずれも13時~17時)、「ブランド依存からの脱却」をテーマとした精肉店経営者向けのセミナーを実施する。

同社では全国の20~60代の男女4千人を対象に、「街の精肉店の利用状況」に関するアンケート調査(調査方法=インターネットによるアンケート調査、調査期間=2月26日~3月3日、回答数=4107人)を実施した。その中から直近で精肉店を利用している800人を選定し、詳細な利用状況や消費者のニーズを調査した。

その結果、これまで圧倒的な人気と信頼を得ていた「国産黒毛和牛」ブランドへの消費者の意識に大きな変化が生じていることが明らかになった。特に若年層を中心に、これまで築き上げられてきた「国産黒毛和牛神話」が崩れる可能性があることを示唆するデータが浮き彫りになっている。

今回、多くの銘柄和牛が存在する中で、Google年間検索ボリューム上位の銘柄を対象に、認知状況と実食経験について調査を行った。認知度が非常に高い結果となったのは、松阪牛や神戸牛など一部の有名銘柄のみ。それ以外の地方銘柄については認知度が著しく低く、実食経験となるとさらに低下してしまうことが判明した。

この結果から、現状の「国産黒毛和牛=高級品」というイメージ戦略に頼っただけのブランディングには限界があり、消費者に実際に食べてもらうまでのハードルが非常に高いことが分かる。

仮に同じ価格であっても、輸入牛肉を選ぶと回答した消費者が多く存在することが今回の調査で明確になった。これは単に価格だけが選ぶ理由ではなく、消費者の肉選びの基準が「健康志向」「赤身のうまみ」に変化していることが背景にある。特に若年層では、国産黒毛和牛と同じ価格であってもヘルシーで赤身肉中心の輸入牛を選択する割合が非常に高く、この傾向は今後さらに強まることが予測される。

以上のことから、ブランド和牛を認知させ、実際に

食べてもらうまでのプロセスが非常に長くなっていることが分かる。このプロセスの途中で消費者の興味が途切れ、いわゆる「和牛神話」が崩れてしまう恐れがある。今後は、和牛のブランド化のみを経営戦略の中心に据えるのではなく、消費者ニーズの多様化や新しい価値観(健康志向・エコ志向など)を踏まえた「新たな価値提供型の販売戦略」が必要。今回の調査から、今後10年以内に「国産黒毛和牛神話」が大きな転換点を迎えることが予測される。従来型のブランド和牛頼みの経営戦略にこだわり続けると、経営リスクを抱えることになる。

では、具体的にどのような戦略を取るべきか、本調査では、ブランドに頼らずに具体的な売り上げを作るための新たな手法や、消費者をひきつけるポイントについても数多くの気づきや学びが得られた。また今回の調査では、「来店頻度別客単価アップ戦略」「世帯別、年齢別マーケティングのポイント」「銘柄和牛ブランドの効果的な販売方法」「顧客が精肉店に求めているサービス」など、ほかにも精肉店の経営に役立つ実践的なノウハウやデータが多く得られた。

これらの詳しい調査結果やブランド依存から脱却する具体的な販売施策については、5月開催のセミナーで詳細に解説する。セミナーの概要は次のとおり。

【精肉店経営者向けセミナー】

日時 東京会場=5月14日(水) / 東京都中央区八丁堀1-9-8、八重洲通ハタビル5・6階(アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 601号室)。博多会場=5月23日(金) / 福岡市博多区博多駅東1丁目1-33、はかた近代ビル1階(リファレンスはかた近代ビル 会議室105)。大阪会場=5月30日(金) / 大阪市淀川区西中島5-14-10、新大阪トヨタビル9階(アットビジネスセンターPREMIUM新大阪〈正面口駅前〉901号室) ※各日13~17時▷参加費=無料▷参加方法=会場参加のみ▷募集人数=各会場先着30社(1社2人まで)▷申込方法=本記事に記載のQRコードにアクセスし、必要事項を記入して申し込む。



関税措置に対し対策チーム設置「米国は輸出先国1位 輸出への影響は間違いなくある」—江藤農相

江藤拓農水大臣は8日、閣議後会見で、トランプ政権による関税措置の対応について「昨年のわが国の農林水産物の輸出額のうち、米国向けは2429億円と第1位の輸出先国である。こうした中、米国の関税措置による輸出への影響は間違いなくある。このたび、農水省は省内に対策チームを立ち上げた。輸出

品目団体、生産者、食品事業者らから聞き取りを行い、品目ごとの影響を分析するよう指示している。全ての国で関税がかかるので、米国だけでなく、例えば香港などで、購買力が落ちる恐れもあるので、国内への影響は広範に分析する必要がある」と述べた。

ビーフソムリエ、食育イベント「親子でビーフ Day」開催

「データサイエンスの力で豊かな食文化を育む」を目標に掲げる(株)ビーフソムリエ(東京都品川区、松岡俊樹社長)は5日、東京都港区の「SY.ノートCafe」を会場にコラボレーションした親子で楽しむ食育イベント「この牛肉はどこから来たの?」畜産農家さんのお仕事について一緒に考えてみよう!」を開催。同社では初めてとなる同イベントには、親子連れの約30人が参加した。

冒頭、同社の松岡俊樹社長が「命をいただきお肉を食べるといこと、そしてそのお肉がどうやって食卓に届いているのかを楽しみながら学んでもらい、日々お肉を食べる時に意識してもらえらるきっかけ作りとなるイベントとなればうれしい」とあいさつ。

続いて、絵本「いのちをいただく」「きょうのよごはん」を朗読、命をいただくことの大切さのついて分かりやすく説明され、子供たちは熱心にきき入った。

その後、同社の佐藤絵夢コンテンツデザイン&クリエイターがスライドを使ったセミナーを行い「私たちが牛肉を食べ、排出された廃棄物が飼料の基となり、生産者の下で牛たちが育っていくという大きなサイクルで、お肉の生産は支え合っつながっている。私たちがお肉を食べられるのは生産者、食肉センター、精肉店の方々がいることで日々おいしいお肉を口にできている」と牛肉生産のおおまかな流れを説明した後、水迫ファーム(鹿児島県指宿市)提供の牛肉を使ったローストビーフ、チャプチェ、牛スジのどて煮が振る舞われ、参加した子どもたちは何度もおかわ



りし楽しみながら味わった。

最後に、同イベントに牛肉を提供してくれた生産者へ向けてメッセージやイラストを作成。松岡社長は「このイベントを通じて、牛肉や牛肉生産者に対する興味・関心、そして日頃の食事から命をいただくことへの意識を少しでも向けてもらえることにつながればうれしい」と語った。

創業70年「元祖紙やきホルモサ」が 「ラムラムラム」に生まれ変わり移転オープン

(株)ホンモノガイイ(東京都中央区、坂田誠一郎社長)はこのほど、同社が運営する羊鍋店「元祖紙やきホルモサ」を道路拡張と建物の老朽化のため、創業70年の節目に日本橋から人形町へ移転、リニューアルオープンした。28種類の野菜と果物、ナッツやスパイスを使った秘伝のタレで味わう羊鍋「元祖紙やき」(ラム肉=税込み2480円、マトン肉=2180円)はそのままだに、女性も立ち寄りやすいシックでオシャレな内装デザインに一新した。

「紙やき」は昭和30年の創業時から受け継がれる秘伝のレシピで作られるタレを使用し、クセのある羊肉のおいしさをより引き出すだけでなく、美と健康にもうれしいヘルシーな仕立て。また、多くの栄養素が含まれ、太りにくいといわれる豪州産のラムとマトンのモモ肉を使っており、スープまで飲み干しても350kcal。さらに1日に必要な野菜350gも摂取できるほか、食べた翌日も胃もたれせず、また食べたくなる味付けが特長。

リニューアルに際し、ベーシックな「元祖紙やき」に加えてオリジナル麻辣スパイス入りの「麻辣紙やき」(ラム肉=2980円、マトン肉=2680円)、どっさりパクチーを乗せた「パクチー紙やき」(ラム肉=2880円、マトン肉=2580円)、べったら漬け・のり・酒かすが入った「人形町紙やき」(ラム肉=2980円、マトン肉=2680円)など計8種類のアレンジバリエーションも新たにラインアップし、その日の気分や好みに合わせて、味を選べる楽しさもプラスされた。

そのほか、風味豊かなオリジナルスパイスをまぶして焼いた人気のラム串にも4種類が楽しめる「ミニ串4本セット」(1100円)が登場したほか、ラムしゃぶサラダ(1300円)や、ラムフレンチチョップ(1680円)、ラムソーセージ(6本=1490円)などの一品料理も



充実。

また同店はランチ営業も行っており、食べ放題の野菜を、自慢の秘伝のタレで楽しめるビュッフェ形式(1人1480円、LINE登録で1200円、マトン300円・ラム500円で追加注文可能)で提供している。

三代目店主の坂田誠一郎社長は「先代から2002年に受け継ぎ、『ホルモサ』を運営してきた。味にほれ込み事業継承をした紙やきは、これまで多くの人に長らく愛されてきたが、もっともっと多くの人に楽しんでもらえるポテンシャルがあると思っている。この古くも新しい紙やきをブラッシュアップし、多くの人の健康を支えられる店として、ここ人形町で100周年を目指したい」と語った。

吉野家「牛丼大盛」など値上げ、主力「並盛」は据え置き

吉野家は7日、一部商品を値上げすると発表した。値上げは10日14時からで、一部の商品を除き、本体価格において各種丼商品の並盛・アタマの大盛・大

盛は40円、特盛・超特盛は60円、定食は70円値上げする。「牛丼小盛」「牛丼並盛」「朝食メニュー」など一部商品は、現行価格に据え置く。

豪州産牛肉に対し、米国は10%の相互関税を導入

豪州時間3日、米国のドナルド・トランプ大統領はホワイトハウスで演説を行い、貿易相手国の関税率や非関税障壁を踏まえて自国の関税を引き上げる「相互関税」として、豪州からの全輸入品目に10%の関税を課すことを発表した。豪州の米国向け輸出品目の中で最大のカテゴリーは牛肉となっており、2024年には約40万tが輸出されている。

主に低価格帯の加工用トリミングミートを無税で輸出しており、相互関税による価格競争力の低下から業界への影響が懸念されている。トリミングミートは肉の各部位をトリミング(余分な脂肪や組織を取り除き整形する工程)した際に発生する肉をまとめたもの。主にネックやマエバラから多く発生する。GATTおよび豪州・米国自由貿易協定(AUSFTA)の無関税枠を利用して輸出されていたが、23年にAUSFTAの移行期間が完了し、数量制限が撤廃されている。

〈豪州政府の反応〉連邦政府のアルバニー州首相は、米国側の発表直後に記者会見を行い、この関税措置は完全に不当なものであると断じた上で、関税撤廃に向けて働きかけを強めていくことを表明した。加えて、報復関税を行う予定はなく、米国側が非関税障壁として批判を強めている豪州のバイオセキュリティシステムについても、交渉のテーブルに乗せるつもりはないと強調した。また、連邦政府は同日付で国内産業を守るための新たな公約を発表した。公約の履行は5月に控える連邦総選挙の結果次第となるが、野党からもさまざまな対応案が出てきており、選挙の主要な争点となる可能性がある。

〈業界の反応〉主要生産者団体である全国農民連盟(NFF)は、「豪州と米国はゼロ関税を適用しているAUSFTAにより深い関係を築いてきたが、今回の決定は両国および世界経済にとって大きな後退である」と深い失望を表明した。今後は豪州政府と緊密に連携し、適切な解決策を模索していくとしている。

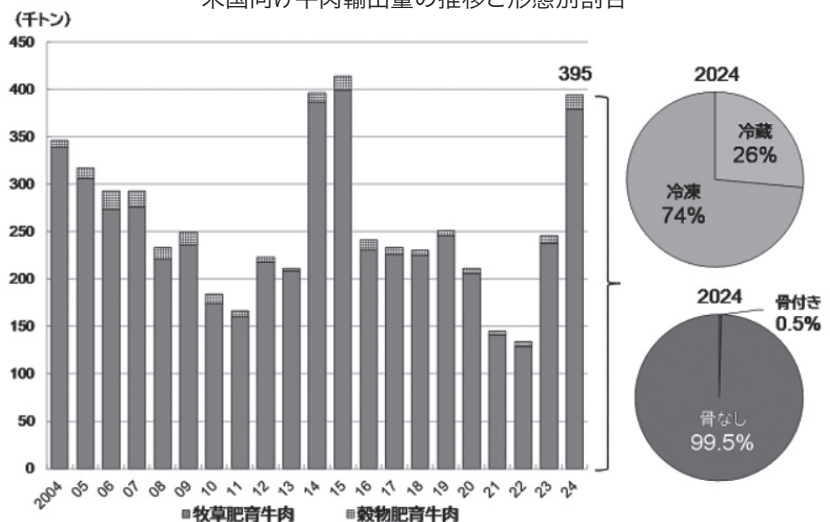
また、肉用牛生産者の主要業界団体であるキャトル・オーストラリアは、

「すでに米国は豪州・NZ食品基準機関(FSANZ)の調査でBSEリスクステータスが低い国と評価されており、検疫上の要件を満たせば豪州への輸出が可能となっている」として、豪州の検疫要件が米国産牛肉の輸出を阻害するとした米国側の主張を否定した。これらの要件は米国で出産、肥育、と畜された牛に適用されているが、米国側はメキシコやカナダで生まれ、米国で肥育、と畜された牛から生産された牛肉の輸出も求めており、そのリスク評価が長期化しているという現状にある。

豪州産牛肉の最大の輸出先は米国であるものの、全体に占める割合は約3割と、輸出先の多様化は一定程度進んでいる。また、米国市場での競合相手とされるブラジル産牛肉にも同様に10%の関税が課されることから、競争環境への影響は軽微であるという意見もきかれる。米国への牛肉輸出は、日本を含む複数国が分け合う米国の低関税枠6万5005t(税率4・4セント/kg)を優先して利用しており、枠消化後は26・4%の関税が課されている。24年は約31万tを米国に輸出している。

加えて、農畜産物の市場アクセスの面で一度交渉が決裂しているEUとの自由貿易協定に関して、今回EUが20%の関税が課されたことを契機として、交渉を再開しようとする動きもみられる。これらの要素を踏まえれば、今後の牛肉需給への影響は現時点で不確定であり、引き続き動向が注視されている。(農畜産業振興機構)

米国向け牛肉輸出量の推移と形態別割合



資料：MLAのデータを基にalicが作成 注：すべて暦年の数値

【輸入副生物現物相場】世界情勢に不透明感高まり

新年度を迎え、量販店の売り場も焼き材をメインに大きくシフト。物価高で値頃感あるアイテムが少ないこともあって、内臓類もタレ漬けホルモンなどが広くフェースをとって「焼き材」の売り場に並ぶ光景も目立つようになってきた。

先週、アメリカのトランプ大統領が日本には24%の関税を課すことを発表し、為替レートや国内株式市場が大きく動揺。中国が報復関税を発表したことで世界の緊張感や不透明感はますます高まっている。

実際に、米中の貿易戦争が長期化すれば、米国の農産物・大豆などの穀物相場にも多大な影響が出ることは必至であり、グレインフェッドの米国产牛の生産頭数回復が遅れる懸念も高まっている。

そうした事情もあり、内臓相場もUS産中心に強含みの展開。年度初めで庫腹にもある程度余裕があることから、早めの手当てに動く企業も多いようで「実需以上に引き合いは堅調。アウトサイドスカートなどを中心に問い合わせは増えている」(大手卸)という声もきかれる。

例年でもGWまでは堅調な動きではあるが、GW明けからも大きな下落はなく、夏場の需要期に向けて張り高か。一方で、現状の為替相場は、各社の期初計

輸入副生物現物相場

単位:円/キロ、税抜き

	商品名	原産地	規格	価格	気配
フ ロ ー ズ ン	牛タン	米国		2500~2600	↑
		豪州	グラス	2100~2200	→
		欧州	グラス	1950~2050	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス プライム	2000~2100 -	↑ -
		メキシコ		1800~	→
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	3100~3300 -	↑ -
		メキシコ		-	→
	シンスカート、シックスカート	豪州	バルク	1200~	↑
	シンスカート(皮なし)	豪州		1500~	→
	レバー	豪州		320~	
		米国		350~	→
	トライブ	-	1.5UP	-	→
		豪州	700gUP 500gUP	- -	→ →
	スモール	米国		500	→
	ラージ	米国		650~700	↑
豪州			680~720	→	
アキレス	米国		1200	→	
テール	豪州		1000~1400	→	
メンブレン	豪州		600~	→	
チ ル ド	牛タン	米国		2700~2900	↑
		豪州	グレイン	2500~2700	↑
	牛タン(ムキタン)	米国		450~4700	↑
		豪州		-	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス	2100~2300	↑
			プライム	2400~2700	↑
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス	3100~3500	↑
			プライム	3500~	-
	メキシコ		-	→	

面の想定レートよりも円高で推移していることから、これが続けば先々の仕入単価については、供給減による上昇と相殺される形で価格はもちあいで推移するという見方も。いずれにせよ、当面は焼き材中心に強もちあいの基調が続きそう。

ベイシア自社食品工場「プロセスセンター」改め「うんまいファクトリー」

ベイシア(群馬県前橋市)は1日、自社で運営する食品工場のプロセスセンターの呼称を「うんまいファクトリー」に変更したと発表した。現在、プロセスセンターは4拠点で稼働しており、おにぎりやいなりずし、

ポテトサラダなど総菜の製造・商品開発、精肉の加工・商品開発、さけの加工などを行い、ベイシア各店で販売している。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 <和牛・交雑牛・乳牛チルド>

(令和7年3月16日~3月22日)

(単位:キログラム当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量
		和牛チルド「4等級」	首都圏	-	-	-	-	894	3,780	4,158	4,212
カタロース	3,510		3,888	3,996	3,761	3,372	3,564	3,834	3,888	3,806	4,850
カタバラ	2,160		2,160	2,160	2,160	1,170	-	-	-	-	22
マエセット	-		-	-	-	281	-	-	-	-	-
ヒレン	-		-	-	-	676	8,100	8,640	9,396	8,685	1,663
ロイン	-		-	-	-	529	5,616	5,940	6,480	6,004	1,970
ロインセット	-		-	-	-	266	-	-	-	-	-
トモバラ	1,706		2,160	2,376	2,091	5,776	1,836	1,944	3,456	2,382	5,652
ウチモモ	-		-	-	-	762	3,672	4,320	4,892	4,216	1,193
シントアマ	4,104		4,212	4,374	4,236	1,095	4,169	4,320	4,320	4,287	1,425
ランイチ	4,104		4,190	4,485	4,235	1,666	4,104	4,320	4,320	4,258	1,473
ソトモモ	3,240		3,672	4,420	3,707	1,016	-	-	-	-	639
スネ	1,836		2,106	2,322	2,091	1,694	1,944	1,944	2,160	2,020	1,985
モモセット	4,104		4,320	4,600	4,341	1,803	3,456	3,618	3,888	3,628	5,978
セット	3,672	3,968	4,429	3,992	17,296	3,471	3,738	4,320	3,808	14,234	
重量合計					38,296					46,112	
中京圏	九州圏	-	-	-	-	393	-	-	-	-	785
	カタロース	3,348	3,672	3,780	3,642	1,098	-	-	-	-	240
	カタバラ	-	-	-	-	878	-	-	-	-	26
	ヒレン	-	-	-	-	304	-	-	-	-	103
	ロイン	-	-	-	-	311	-	-	-	-	103
	トモバラ	1,674	1,804	1,998	1,800	1,717	-	-	-	-	697
	ウチモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	112
	シントアマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	323
	ランイチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	245
	ソトモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	216
	スネ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	153
	モモセット	-	-	-	-	911	-	-	-	-	-
	セット	3,163	3,888	5,020	3,887	2,208	3,353	3,579	4,312	3,767	5,902
	重量合計					7,820					8,905

(令和7年3月16日~3月22日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	2,862	3,024	3,292	3,084	1,229	2,700	2,916	3,348	2,972	7,288
	カタロース	2,322	2,322	2,322	2,322	5,537	2,160	2,322	2,592	2,325	3,806
	カタバラ	-	-	-	-	533	-	-	-	-	791
	ヒレン	5,724	6,156	6,480	6,154	1,217	5,940	6,480	7,020	6,558	1,236
	ロイン	-	-	-	-	372	4,320	4,320	4,396	4,335	2,863
	トモバラ	1,566	1,631	2,862	1,959	3,687	1,458	1,566	1,728	1,553	5,236
	ウチモモ	2,484	2,592	2,646	2,563	1,414	2,268	2,484	2,646	2,456	2,039
	シントアマ	2,322	2,592	2,899	2,534	1,982	2,268	2,484	2,646	2,452	2,285
	ランイチ	2,538	2,538	2,592	2,555	1,423	2,376	2,592	2,592	2,533	1,729
	ソトモモ	2,214	2,322	2,322	2,316	1,773	2,160	2,268	2,484	2,267	2,086
	スネ	1,566	1,620	1,620	1,609	1,241	1,480	1,512	1,620	1,513	1,837
	モモセット	-	-	-	-	-	2,268	2,894	2,894	2,735	4,779
	セット	3,078	3,122	3,456	3,196	9,813	2,646	3,132	3,456	3,124	18,160
	重量合計					30,221					54,135

乳牛チルド「3等級」	首都圏	2,700	3,100	3,461	3,153	2,929	2,484	2,776	3,348	2,851	2,700
	カタロース	-	-	-	-	91	1,669	1,782	2,052	1,763	4,157
	カタバラ	-	-	-	-	318	-	-	-	-	-
	三角バラ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	802
	ブリスケット	-	-	-	-	-	1,242	1,296	1,636	1,327	2,971
	ヒレン	-	-	-	-	874	4,860	4,860	5,616	4,956	1,379
	ロイン	-	-	-	-	84	3,402	3,920	4,158	3,847	1,445
	トモバラ	1,231	1,350	2,697	1,935	4,450	1,075	1,339	2,970	1,428	4,413
	ウチモモ	1,998	2,267	2,430	2,290	1,850	1,831	1,944	2,052	1,957	3,322
	シントアマ	-	-	-	-	746	1,744	1,836	1,944	1,828	1,440
	ランイチ	1,944	2,160	2,640	2,206	1,487	1,728	1,922	2,030	1,918	3,748
	ソトモモ	-	-	-	-	879	1,669	1,669	1,890	1,755	1,322
	スネ	1,469	1,512	1,512	1,511	1,305	1,512	1,566	1,620	1,555	2,981
	セット	2,700	2,700	2,700	2,700	7,305	1,781	1,967	2,041	1,900	27,525
重量合計					22,318					58,205	

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈輸入牛肉〉

(令和7年3月16日～3月31日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量 kg)

		首都圏					近畿圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,160	2,549	3,069	2,701	5,425	2,268	2,335	2,484	2,378	2,817
	ショートプレート	1,442	1,458	1,566	1,479	19,580	1,393	1,393	1,393	1,393	19,564
	リブアイロールリップオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	55	-	-	-	-	47
	チャックリブ	-	-	-	-	90	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	2,538	2,646	2,646	2,632	2,887	2,268	2,268	2,376	2,305	1,514
	ショートプレート	1,350	1,350	1,361	1,351	2,352	1,296	1,404	1,404	1,398	12,398
豪州チルド	チャックアイロール	1,998	1,998	1,998	1,998	2,078	-	-	-	-	-
	チャックロール	-	-	-	-	-	1,512	1,728	1,752	1,672	1,378
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	223
	クロッド	1,404	1,404	1,404	1,404	1,236	-	-	-	-	841
	ポイント&ブリスケット	1,393	1,566	1,566	1,504	2,144	-	-	-	-	118
	ナーベル&ブリスケット	-	-	-	-	624	-	-	-	-	-
	チャックショートリブ	-	-	-	-	201	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	2,538	2,646	2,646	2,637	6,070	-	-	-	-	-
	テンダーロイン	-	-	-	-	534	-	-	-	-	15
	トップサイド	1,490	1,490	1,588	1,509	1,362	1,393	1,642	1,642	1,555	1,864
	シックフランク	1,404	1,404	1,404	1,404	1,315	-	-	-	-	26
	D-ランプ	1,593	1,593	1,593	1,593	1,259	-	-	-	-	-
アウトサイド	1,566	1,566	1,566	1,566	3,276	1,393	1,404	1,404	1,404	2,953	
取引重量合計		50,521					43,758				

		中京圏					九州圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,646	2,646	2,646	2,646	1,183	2,041	2,322	2,592	2,268	12,293
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	チャックリブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	-	-	-	-	-	2,516	2,732	2,894	2,715	2,517
	ショートプレート	-	-	-	-	313	1,296	1,328	1,361	1,328	3,071
豪州チルド	チャックロール	-	-	-	-	92	-	-	-	-	121
	チャックテンダー	-	-	-	-	64	-	-	-	-	-
	クロッド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ポイント&ブリスケット	-	-	-	-	628	-	-	-	-	107
	ナーベル&ブリスケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105
	テンダーロイン	-	-	-	-	132	-	-	-	-	-
	トップサイド	1,717	1,760	1,836	1,772	2,677	1,674	1,793	1,868	1,792	1,707
	シックフランク	1,577	1,577	1,699	1,602	1,392	-	-	-	-	309
D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アウトサイド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
取引重量合計		6,481					20,230				

※豪州産の価格はすべてグレインフェッド・ミドル。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月8日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	3,334	2,376	2,185	-	-	
		安値	2,222	2,114	2,108	-	-	
		平均	2,553	2,276	2,151	-	-	
	74頭	頭数	44	25	5	-	-	
	雌 B	高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
		平均	2,061	-	-	-	-	
	1頭	頭数	1	-	-	-	-	
	去 A	高値	3,266	2,386	2,217	2,000	-	
		安値	2,212	2,065	2,105	1,769	-	
		平均	2,583	2,279	2,159	1,891	-	
	201頭	頭数	141	50	6	4	-	
去 B	高値	-	-	-	-	-		
	安値	-	-	-	-	-		
	平均	2,188	-	-	-	-		
1頭	頭数	1	-	-	-	-		
乳牛	雌 B	-頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-	
	去 B	-頭	平均	-	-	-	-	
	去 C	-頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	8頭	平均	-	1,645	1,572	1,466	-
		頭数	-	1	6	1	-	
	雌 C	1頭	平均	-	-	1,439	-	-
		頭数	-	-	1	-	-	
	去 B	39頭	平均	1,620	1,757	1,618	1,502	-
頭数	1	13	16	9	-			
去 C	5頭	平均	-	-	1,520	1,409	-	
頭数	-	-	3	2	-			

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	840	-	(競り)	(相対)	
売買	430	1,108	85.5	-	12	78

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A	高値	2,684	1,780	1,801	1,337	-
	安値	-	-	1,296	1,221	1,163
和 去 A	高値	2,659	2,206	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
乳 雌 B	高値	-	-	-	889	-
	安値	-	-	-	840	873
乳 去 B	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
交 雌 B	高値	-	-	1,521	-	-
	安値	-	-	-	-	-
交 去 B	高値	-	-	1,314	-	-
	安値	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	626	724	696	609	561
	安値	611	572	508	446	302
	平均	619	606	575	538	471
	頭数	(3)	(338)	(457)	(236)	(74)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	-	518	-
	安値	-	-	-	486	-
	平均	-	-	529	500	-
	頭数	(-)	(-)	(1)	(11)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 4月8日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,642	2,466	-	-	-
(頭数)	(10)	(6)	(-)	(1)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,659	2,391	2,068	-	-
(頭数)	(32)	(11)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,738	1,633	1,502	-
C	-	-	1,554	-	-
交雑去 B	-	1,739	1,645	1,507	-
C	-	-	1,697	1,481	-
豚	-	-	612	555	467

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月8日	4月7日	(4月累計)
豚	63,800	59,700	370,300
成牛計	4,580	4,840	27,300
和牛雌	1,310	1,030	6,960
和牛去勢	1,270	1,640	7,660
乳牛雌	750	350	4,180
乳牛去勢	480	470	2,600
交雑雌	400	500	2,900
交雑去	370	850	2,990

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月8日

	東京	大阪
取引価格	1,540円 (前日 1,549円)	1,601円 (前日 1,619円)

[豚・全農建値] 4月8日

上	中	取引頭数	市況
607円	583円	938頭	強もちあい

と畜	牛 114頭	豚 102頭	牛概況	もちあい
売買	牛 114頭	豚 55頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月8日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	5,356	-	もちあい
仙台 [中]	550 (539)	485 (483)	419	124	反発
栃木 [地]	- (569)	- (536)	-	-	休市
茨城 [地]	606 (602)	580 (582)	1,427	597	上伸
群馬 [地]	627 (624)	554 (536)	1,895	344	小幅続伸
さいたま [中]	609 (600)	592 (587)	200	202	上伸
東京 [中]	606 (596)	575 (576)	840	1,108	反発
横浜 [中]	608 (616)	582 (587)	684	678	反落
山梨 [地]	674 (-)	645 (-)	146	86	急伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	562 (584)	549 (548)	976	313	下押し
京都 [中]	617 (627)	593 (614)	113	104	もちあい
大阪 [中]	- (641)	612 (605)	102	35	まちまち
神戸 [中]	795 (-)	850 (-)	-	148	-
岡山 [地]	654 (609)	611 (587)	260	269	反発
広島 [中]	609 (588)	580 (557)	246	101	急騰
福岡 [中]	587 (585)	561 (563)	560	122	もちあい

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 4月1日~4月7日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,410,364 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,080	1,206	1,274	1,201	58,032
うで	752	824	836	813	121,621
ロース	1,037	1,104	1,198	1,116	164,114
ばら	1,121	1,223	1,293	1,236	135,078
もも	784	799	835	806	156,323
ヒレ	1,034	1,129	1,184	1,133	10,015
セット	962	1,031	1,068	1,032	765,181

◇近畿圏 総重量 670,354 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,295	1,349	1,292	53,832
うで	737	775	799	775	108,787
ロース	1,080	1,210	1,268	1,190	90,777
ばら	1,188	1,250	1,296	1,245	104,247
もも	741	762	819	765	163,855
ヒレ	1,174	1,218	1,310	1,238	9,489
セット	928	1,004	1,083	1,013	139,367

[食鳥正肉日経相場] 4月7日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	728	788	938	206
ムネ	374	432	547	181

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	694	769	1,010	4
ムネ	377	434	570	4

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月7日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽キ	ササミ
高値	1,036	639	550	600	650
安値	758	390	290	360	350
平均	785	434	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。